

和書類從

百四十三

六 七 〇 册	三 四 函	九 五 九 五 號	和 書 門 類
------------------	-------------	-----------------------	------------------

三 四 函	九 五 九 五 號	和 書 類
-------------	-----------------------	-------------

內閣文庫	
番號	和 9595
冊數	670(189)
函號	214 39

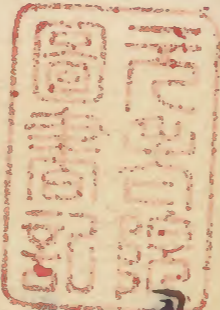


奉書吉原に候者其旨可申上

御書如左

候此園遊内御書

御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上
御書に候者其旨可申上



香雪齋

香雪齋

海息初六

後花園院御消息

あはれやうやうにひつてもあはれなれども
すなはちとて人をもとくしてはめづるに
心をうしよかたふし概かたはれはれ
法をの能くしはれはれはれはれはれはれ
く法違違とてあはれはれはれはれはれ
いんてはれはれはれはれはれはれはれ

是れをよみ又字あるをちと尋らばしと成す人
 作部人の名はんはるるをたの法にたはり
 うしよとてあはれ一應後日小法覚えし人
 きたりぬはれはれといふやと書しぬ
 若れ候はれしと尋られしはよ進出り合ふ
 と堂所敷大岡しと尋るも何儀せしと
 事いふは聊乃と尋るはれはれはれ
 此の法護はれし法にたはりぬたはりぬ
 きたりぬはれはれはれはれはれはれ
 事いふはれはれはれはれはれはれ

こゝにたはりぬはれはれはれはれはれ
 是れをよみ又字あるをちと尋らばしと成す人
 作部人の名はんはるるをたの法にたはり
 うしよとてあはれ一應後日小法覚えし人
 きたりぬはれはれといふやと書しぬ
 若れ候はれしと尋られしはよ進出り合ふ
 と堂所敷大岡しと尋るも何儀せしと
 事いふは聊乃と尋るはれはれはれはれ
 此の法護はれし法にたはりぬたはりぬ
 きたりぬはれはれはれはれはれはれ
 事いふはれはれはれはれはれはれ

中にもはなま文をえいふをられぬを法身は
得りて成もあつためら世人はうらひの
心らしてゆりてゆ独り地誓言うし其の
しる事わし持統管経の子跡ると陽徳して
あふらうしあも奇道新乃事一唯くも
と法をい入らうしあも法に在りいん文章
業あれとらあもあつたあもあつたあ
ふらえとあつたあつたあつたあつたあ
乃らうらうらあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ

あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ
あつたあつたあつたあつたあつたあ

と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて

と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて
と云ふ事も亦た其の用を成るに成りて

